

令和 5 年度

救急業務のあり方に関する検討会

第2回資料：今年度の検討事項

令和5年12月1日(金)
消防庁

令和5年度 救急業務のあり方に関する検討会 検討事項

高齢化の進展等を背景とする救急需要の増大に対応し、救命率を向上させるため「救急業務の円滑な実施と質の向上」や「救急車の適時・適切な利用（適正利用）の推進」について検討を行う。

※ WG:ワーキンググループ

救急業務の円滑な実施と質の向上

1. マイナンバーカードを活用した救急業務の全国展開に係る検討（WG）

- 救急業務において救急隊がマイナンバーカードを活用し、救急隊の専用端末などを用いて、「オンライン資格確認等システム」から傷病者の診療情報等を閲覧することで、より迅速・円滑な救急活動が全国で可能となる環境を整備するため、必要なシステムの構築に向けた検討を行う。
- 令和5年度は、本事業に係る調査研究の内容をWGに報告するとともに、令和4年度のWGで検討した実証実験の結果や本格運用に向けた効果・課題を踏まえ、救急業務にふさわしいシステムの具体的内容やその運用方針等について検討する。

救急車の適時・適切な利用（適正利用）の推進

2. 救急需要の適正化等に関する検討（WG）

- コロナ禍において119番通報等が急増し、消防機関・医療機関等において救急搬送体制と受入体制がひっ迫した経験を踏まえ、病院前救護における緊急度判定の強化を見据えた検討が必要と考えられる。
- 令和5年度は、救急搬送の実態も踏まえ、これまで消防庁が進めてきた緊急度判定体系の検討に引き続き、大規模災害時（感染症有事を含む。）の救急ひっ迫時に行う「119番通報時」及び「救急現場」における緊急度判定に焦点を当てて、課題を整理し対応策を検討する。
- 併せて、コロナ禍の経験を踏まえ、今後の救急需要の適正化等に関する課題についてもWGにおいて議論し、課題を整理する。

※その他＜報告事項＞

救急業務に関する過去の消防庁通知等のフォローアップとして、①都道府県及び消防本部等を対象とするアンケート調査、②都道府県及び消防本部への個別訪問による課題等の調査を実施する。その一環として、救急隊員の職務環境に関する調査・検討を実施。

令和5年度開催スケジュール

